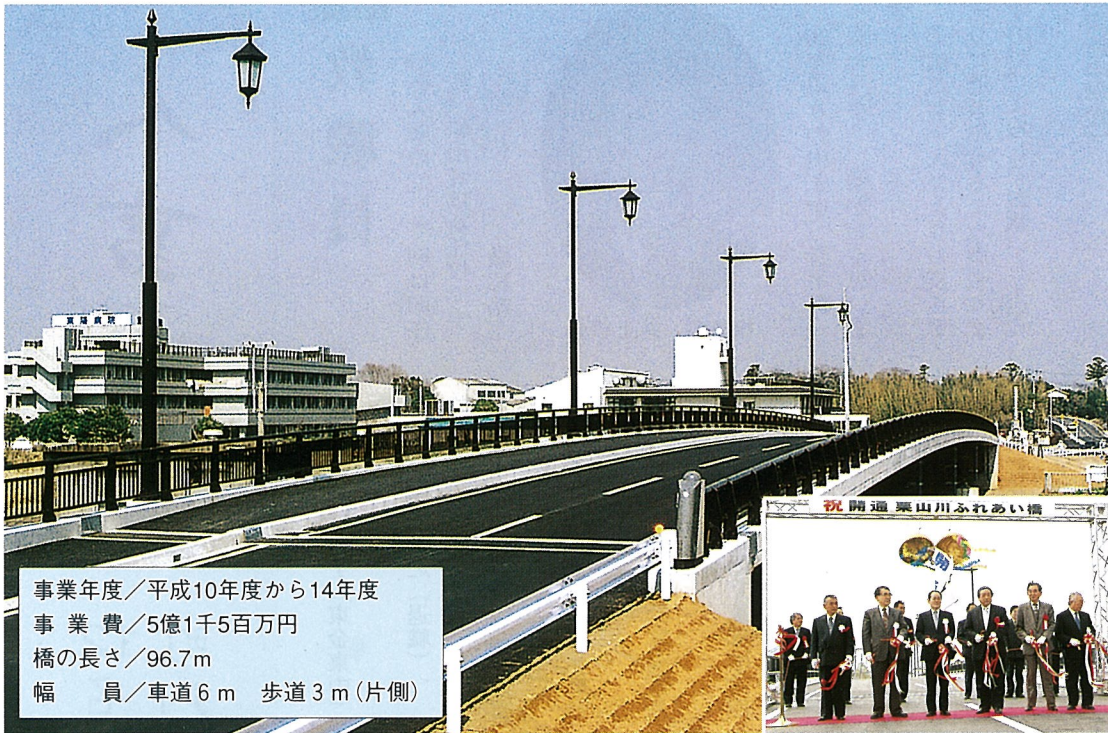


開 通

横芝町 — 光町を結ぶ6番目の橋

『栗山川ふれあい橋』



事業年度／平成10年度から14年度
事業費／5億1千5百万円
橋の長さ／96.7m
幅員／車道6m 歩道3m(片側)



▲横芝小鼓笛隊

横芝町と光町を結ぶ6本目の橋となる「栗山川ふれあい橋」が完成し3月27日、開通式典と渡り始めが行われました。両町は、昔から産業・文化や人的交流が盛んであるうえ、病院や消防組合を組織するなどつながりは深いですが、旧国道(栗山橋)から県道飯岡・片貝線(木戸大橋)までの約5kmの間には、横芝堰に併設された車一台がやっと通れる橋しかなく、新橋を望む声は多くありました。



▲渡り始めを見守る両町民(横芝側)

この橋は、平成10年度に横芝町を事業主体として、光町との共同事業でスタート。しかし、平成11年の集中豪雨による水害が契機となり、県との協議を重ね河川改修に伴った架橋工事となりました。式典では、橋名「栗山川ふれあい橋」の入選者に記念品が贈られ、交通安全宣言を唱えた後、両町長ら関係者がテープカット、続いて横芝小と東陽小児童鼓笛隊の先導で参加者が渡り始めを行い、橋の完成を祝いました。

◆橋の名前

『栗山川ふれあい橋』

横芝・光町で募集され、579通の応募の中から“ふれあい”の文字を使っていた29名を入選者とし、「両町の絆を深め、さらに交流が促進されることを願って」の意味が込められています。



◆橋の欄干

両町が共同して架けた初めての橋であり、これを末永く後世に残すため、欄干に両町の木と花をデザインしたパネルが交互に設置されています。

横芝町の木「梅」



光町の花「桜」

